

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	安田女子短期大学	整理番号	2-4-009
応募テーマ	主として学生の学習及び課外活動への支援の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	学生の主体的運営によって成功したオリゼミ		
申請単位	短期大学全体		
申請担当者	多田 正利		
<p>(取組の概要)</p> <p>教育機関として最も懸念すべきことは、新入生の退学である。本学の退学率は毎年 1%前後(除籍を含む)と極めて低率で推移しているが、その最大の要因は「オリゼミ」である。本学の「オリゼミ」は、新入生の大学生活への適応支援、仲間作り、先生や上級生との絆作りを目的として、毎年5月に国立江田島青年の家において2泊3日の日程で実施している。昭和52年から27年間継続して実施しており、その間、形骸化せず実効ある形で継続できたのは、学生(2年生)主体の運営をしてきたからである。2年生は2泊3日の「オリゼミ」を成功させるために、6ヶ月かけて周到な準備を行う。「オリゼミ」で2年生が悩み揺れる新入生の心を開いてゆく手法には感心させられる。ある時点から新入生の顔つきが明らかに変わり、その時点で「オリゼミ」の成功を確信する。また、「オリゼミ」を通して、2年生が飛躍的な人間的成長を遂げることも大きな教育効果である。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、27年間という長期にわたって継続しているもので、学生の主体的運営によって成り立っている点が特筆に価します。入学年次の5月に、2年次生のリードでオリエンテーションセミナーを開催し、その年の秋には、翌年のセミナーのリーダーが決まって伝統を受け継いでいくというサイクルは、短大ならではの取組といえるでしょう。また2年次生が自己開示することで、新入生の心をも開くという「語らいの時間」というグループ研修は、学生同志ならではの学びといえます。セミナーによって帰属意識が醸成され、セミナー終了後は、友人同士のカウンセリングが盛んに見受けられるというこの取組は、公開性に値するものと評価します。</p>			